

りそな・世界資産分散ファンド (愛称：ブンさん)

<3041>

追加型投信／海外／資産複合

日経新聞掲載名：ブンさん

第209期	2023年4月10日決算	第212期	2023年7月10日決算
第210期	2023年5月9日決算	第213期	2023年8月9日決算
第211期	2023年6月9日決算	第214期	2023年9月11日決算

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、海外の公社債、リート（不動産投資信託）および株式に投資し、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得により、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第214期末	基準価額	10,057円
	純資産総額	34,165百万円
第209期～第214期	騰落率	6.9%
	分配金合計	195円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◇TKU0304120230911◇

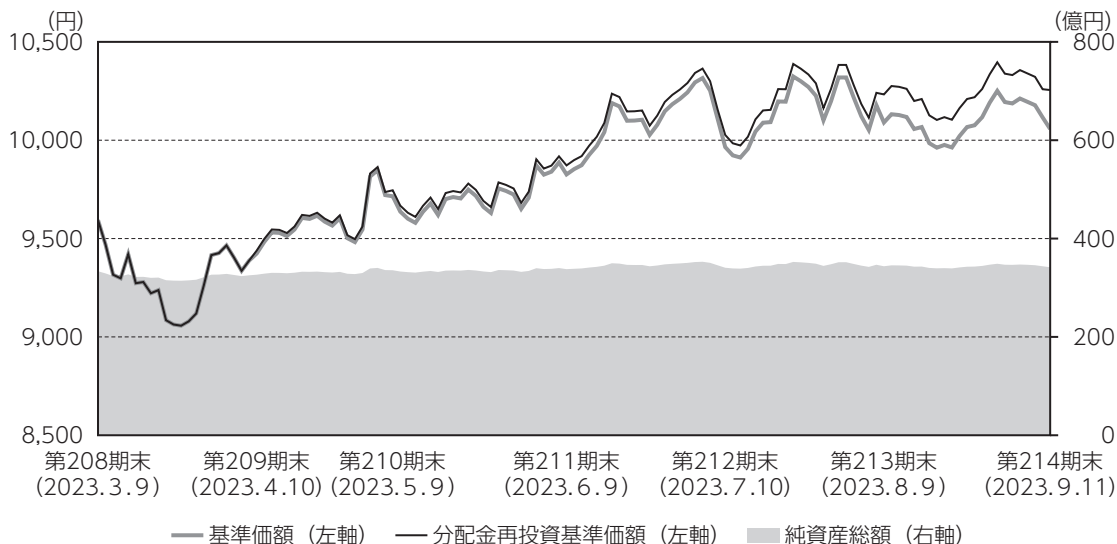
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第209期首：9,594円

第214期末：10,057円（既払分配金195円）

騰落率：6.9%（分配金再投資ベース）

組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ハイグレード・ソブリン・マザーファンド	7.9%	33.2%
世界好配当株マザーファンド	10.8%	33.1%
世界REITマザーファンド	4.4%	32.9%

基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、海外の公社債、リートおよび株式に投資した結果、海外の株式市況が上昇したことや、為替相場で円安が進んだことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第209期～第214期 (2023.3.10～2023.9.11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	71円	0.726%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,826円です。
(投 信 会 社)	(30)	(0.307)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(38)	(0.391)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0.045	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.033)	
(投 資 証 券)	(1)	(0.012)	
有 価 証 券 取 引 税	2	0.020	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.009)	
(投 資 証 券)	(1)	(0.011)	
そ の 他 費 用	3	0.028	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.023)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	80	0.819	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

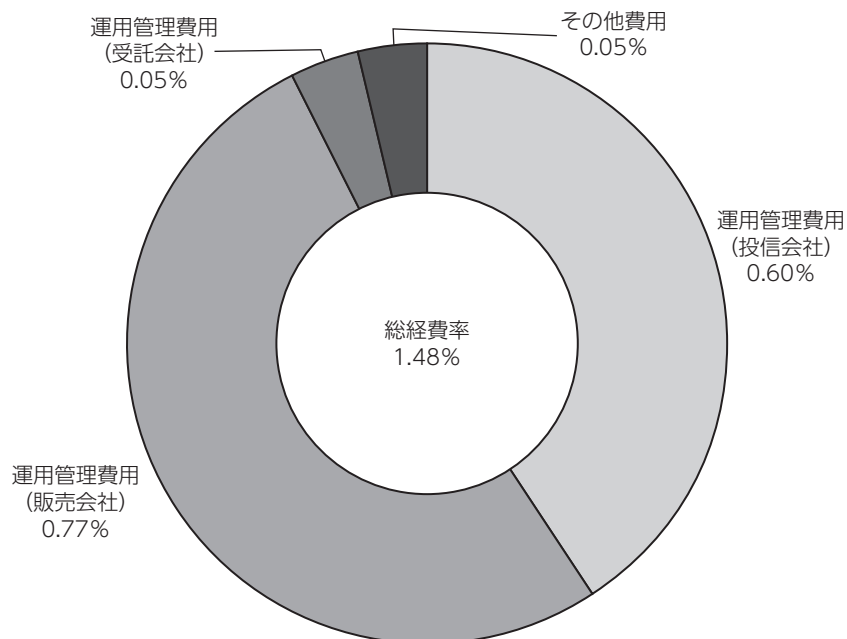
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.48%です。

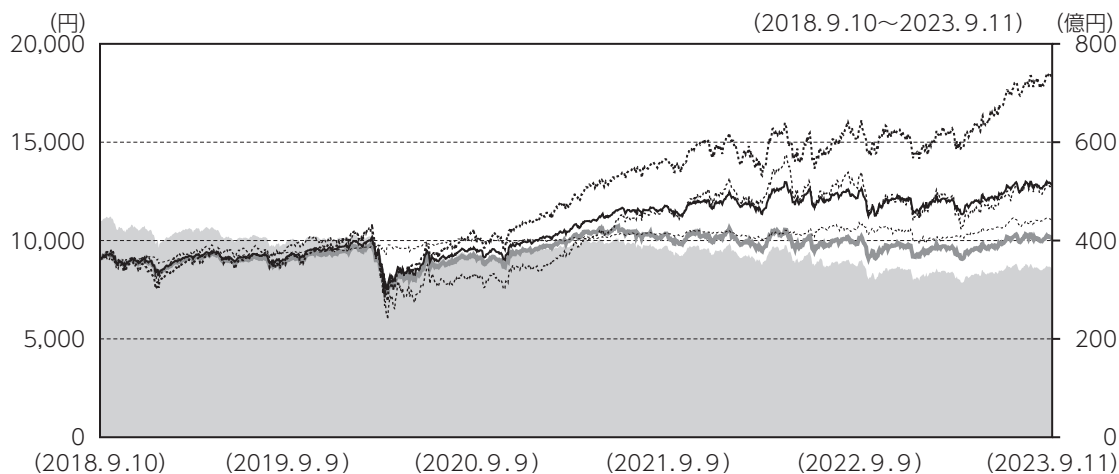


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

最近5年間の基準価額等の推移について



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)
 FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (左軸)
 S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算) (左軸)
 MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) (左軸) ■ 純資産総額 (右軸)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年9月10日の基準価額をもとに指数化したものです。

* 参考指数はFTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)、S & P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)、MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年9月10日 期初	2019年9月9日 決算日	2020年9月9日 決算日	2021年9月9日 決算日	2022年9月9日 決算日	2023年9月11日 決算日
基準価額 (円)	9,035	9,005	9,065	10,153	10,105	10,057
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	180	180	1,010	790	285
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.7	2.7	23.5	7.5	2.4
FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	4.1	6.6	3.3	4.5	2.7
S&P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	7.0	△16.1	44.5	13.4	△4.8
MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	0.7	9.0	41.8	12.1	15.9
純資産総額 (百万円)	43,656	39,842	36,880	38,196	35,757	34,165

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) 騰落率は、同指数の原データに基づき、大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) S&P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算) は、S&P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注4) MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承認を得て、MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。 (<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注5) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注6) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

※参考指数の「S&P先進国REIT指数 (除く日本、配当込み、円換算)」を「S&P先進国REIT指数 (除く日本、税引後配当込み、円換算)」に、「MSCIコクサイ指数 (配当込み、円換算)」を「MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

S&P先進国REIT指数 (除く日本) はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社 (「SPDJI」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびCDX[®]は、S&P Global, Inc.またはその関連会社 (「S&P」) の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。りそな・世界資産分散ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P先進国REIT指数 (除く日本) のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しては一切責任を負いません。

投資環境について

(2023.3.10~2023.9.11)

海外債券市況

海外債券市況は、金利は上昇（債券価格は下落）しました。

海外債券市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻に端を発する信用不安が広がり、将来の利下げ織り込みが加速したことや投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、米国をはじめグローバルで金利は低下（債券価格は上昇）しました。その後、過度な信用不安が後退するに連れて金利低下幅を徐々に戻す展開となり、経済指標の上振れなどを背景に早期の引き締め終了期待がはく落したことから、金利は上昇基調となりました。2023年6月には、F R B（米国連邦準備

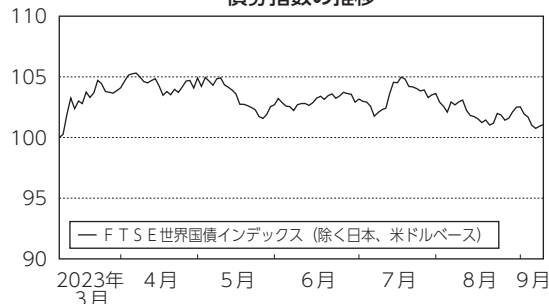
制度理事会）が政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを上げたことなどから、金利上昇が継続しました。その後も、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことや、米国における財政赤字の拡大などによる国債の増発や格付会社の米国債格下げが嫌気され、米国をはじめグローバルで金利は上昇しました。当作成期において、特に英国は、他の国が利上げペースの縮小や据え置きを発表する中で、高止まりするインフレを抑制するために積極的な金融引き締めを継続したことなどから、他の国に比べて金利上昇幅が大きくなりました。

海外リート市況

海外リート市況は下落しました。

海外リート市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに金融システムに対する警戒感が高まる中、投資家心理の悪化などを背景に、下落して始まりました。2023年3月末にかけては、米国当局が必要に応じて支援を拡充する構えを示したことなどを受けて、金融システムへの過度な警戒感が後退する中、一部値を戻しました。6月中旬にかけては、主要中央銀行の金融政策や米国債務上限問題の動向に左右され、上下する展開となりました。その後は、米国におけるインフレ指標の鈍化を好感して上昇したものの、当作成期末にかけては、堅調な米国経済指標を背景に米国の利上げ継続観測が再燃したことなどから、軟調に推移しました。

債券指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

リート指数の推移



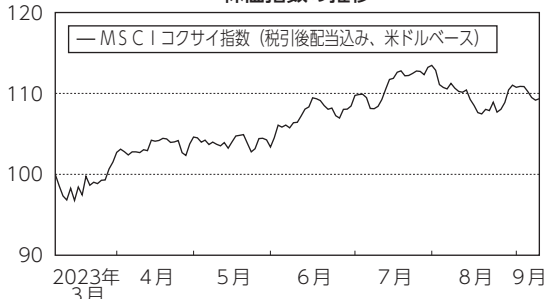
(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

■海外株式市況

海外株式市況は上昇しました。

海外株式市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻を受けて下落して始まりましたが、2023年3月末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）による緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感され、上昇に転じました。5月下旬にかけては、主要中央銀行の金融政策や米国債務上限問題の動向に左右され、上下する展開となりました。その後、A I（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや米国債務上限問題の解決、米国のインフレ率の鈍化などが好感され、7月末にかけて大幅に上昇しました。8月以降は、堅調な米国経済指標を受けて米国の利上げ継続観測が再燃したことなどから軟調に推移し、当作成期末を迎えました。

株価指数の推移



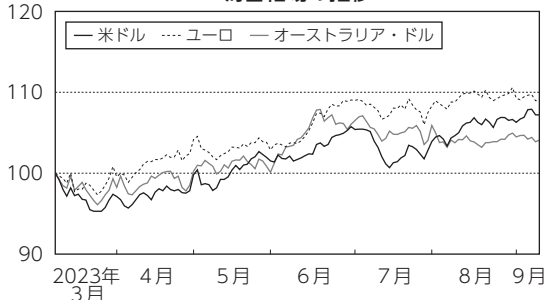
(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

■為替相場

為替相場は、対円で上昇（円安）しました。

対円為替相場は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営破綻に伴う信用不安の拡大により米国金利が大きく低下したことや、リスク回避による円買い需要の高まりなどから、米ドルは対円で下落（円高）しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。2023年6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。その後は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて米ドルは対円で下落する場面もありましたが、再度、米国をはじめグローバルで金利が上昇基調となると、円は弱含む展開となりました。その他の通貨も米ドル円に連れる展開となり、日銀が他の国・地域の中央銀行に比べ緩和的な金融政策を維持していたことから、対円でおおむね上昇しました。

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

各マザーファンドの受益証券を通じて、海外の公社債、リートおよび株式にそれぞれ3分の1ずつをめに投資を行います。

■ハイグレード・ソブリン・マザーファンド

債券は、取得時に信用格付A格相当以上の海外のソブリン債等を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度から10（年）程度の範囲で、各国の市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて変動させます。通貨の投資割合はドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とすることを基本としつつ、各通貨の市場動向や経済環境の評価に応じて変動させます。

■世界REITマザーファンド

安定的な配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案して投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

■世界好配当株マザーファンド

海外の株式等に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により信託財産の中長期的な成長をめざします。地域配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域に均等に投資することを基本とします。個別銘柄選定にあたっては、配当の質が高い企業を選定するための定量分析データ（S&P社クオリティ・ランキング等）や、配当利回りの水準、時価総額規模、流動性等を勘案します。また、定性分析に基づき利益や配当の継続性を考慮し、業績見通しが堅調な企業に投資を行う方針です。

※C&S：コーヘン&スティアーズ・キャピタル・マネジメント・インク

ポートフォリオについて

(2023. 3. 10~2023. 9. 11)

■当ファンド

各マザーファンドの受益証券を通じて、海外の公社債、リートおよび株式にそれぞれ3分の1ずつをめどに投資しました。

■ハイグレード・ソブリン・マザーファンド

海外のソブリン債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。金利変動リスクを表す修正デュレーションについては、5（年）程度から10（年）程度の範囲内で運用しました。通貨の投資割合は、ドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とすることを基本としました。各通貨の市場動向や経済環境の評価に応じて、投資割合を変動させました。

■世界REITマザーファンド

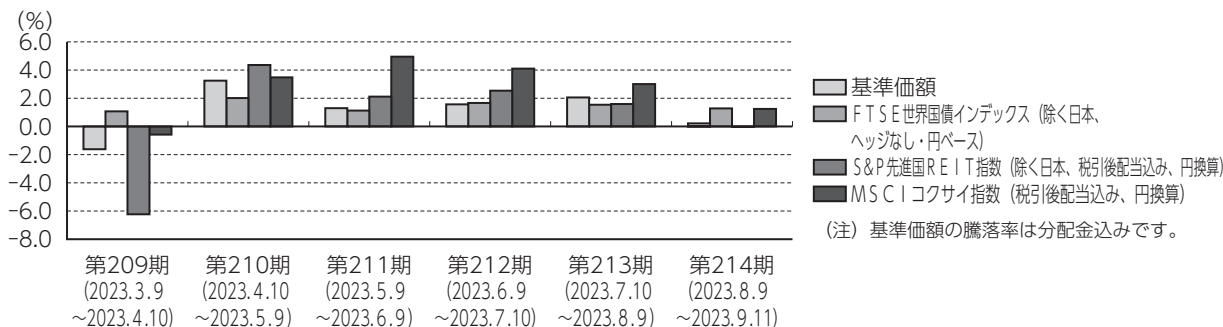
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託しております。当ファンドでは、信託財産の中長期的な成長をめざし、保有不動産の価値や期待される成長性などと比べてリート価格が魅力的であると考えられる銘柄に着目するとともに、安定的な配当利回りの確保をめざしてポートフォリオを構築しました。国・地域別配分では、大きなリスクを取らず各地域に分散して投資を行いました。

■世界好配当株マザーファンド

海外の株式等に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。地域別配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域が均等になるように、個別銘柄の投資比率を調整しました。個別銘柄の選択に関しては、高い配当利回りが期待される銘柄の中から、特に利益やキャッシュフロー等の業績成長および負債比率等の財務体質の健全性を考慮し、ポートフォリオに組み入れました。また株価の水準にも注意を払い、相対的に割安感がある企業を中心に組み入れを行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第209期	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期
	2023年3月10日 ~2023年4月10日	2023年4月11日 ~2023年5月9日	2023年5月10日 ~2023年6月9日	2023年6月10日 ~2023年7月10日	2023年7月11日 ~2023年8月9日	2023年8月10日 ~2023年9月11日
当期分配金(税込み) (円)	15	15	15	15	80	55
対基準価額比率 (%)	0.16	0.15	0.15	0.15	0.79	0.54
当期の収益 (円)	15	15	15	15	18	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	61	34
翌期繰越分配対象額 (円)	635	645	660	682	621	587

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第209期	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 21.29円	✓ 24.34円	✓ 30.68円	✓ 37.04円	✓ 18.67円	✓ 20.75円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	50.53	50.75	51.06	51.29	51.71	52.56
(d) 分配準備積立金	578.99	585.07	594.12	609.58	✓ 631.21	✓ 569.07
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	650.82	660.17	675.86	697.92	701.60	642.38
(f) 分配金	15.00	15.00	15.00	15.00	80.00	55.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	635.82	645.17	660.86	682.92	621.60	587.38

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

各マザーファンドの受益証券を通じて、海外の公社債、リートおよび株式にそれぞれ3分の1ずつをめぐりに投資を行います。

■ハイグレード・ソブリン・マザーファンド

債券は、取得時に信用格付A格相当以上の海外のソブリン債等を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。ポートフォリオの修正デュレーションは、5（年）程度から10（年）程度の範囲で、各国の市場動向や経済見通しに基づく金利見通しに応じて変動させます。通貨の投資割合はドル通貨圏、欧州通貨圏をそれぞれ50%程度とし、ドル通貨圏内では米ドル、欧州通貨圏内ではユーロを50%程度とすることを基本としつつ、各通貨の市場動向や経済環境の評価に応じて変動させます。

■世界REITマザーファンド

安定的な配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、C&Sに運用の指図にかかる権限を委託します。海外リートへの投資にあたっては、個別銘柄の投資価値を分析して、配当利回り、期待される成長性、割安度などを勘案して投資銘柄を選定し、分散投資を行います。

■世界好配当株マザーファンド

海外の株式等に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式の値上がり益の獲得により信託財産の中長期的な成長をめざします。地域配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアの3地域に均等に投資することを基本とします。個別銘柄選定にあたっては、配当の質が高い企業を選定するための定量分析データ（S&P社クオリティ・ランキング等）や、配当利回りの水準、時価総額規模、流動性等を勘案します。また、定性分析に基づき利益や配当の継続性を考慮し、業績見通しが堅調な企業に投資を行う方針です。



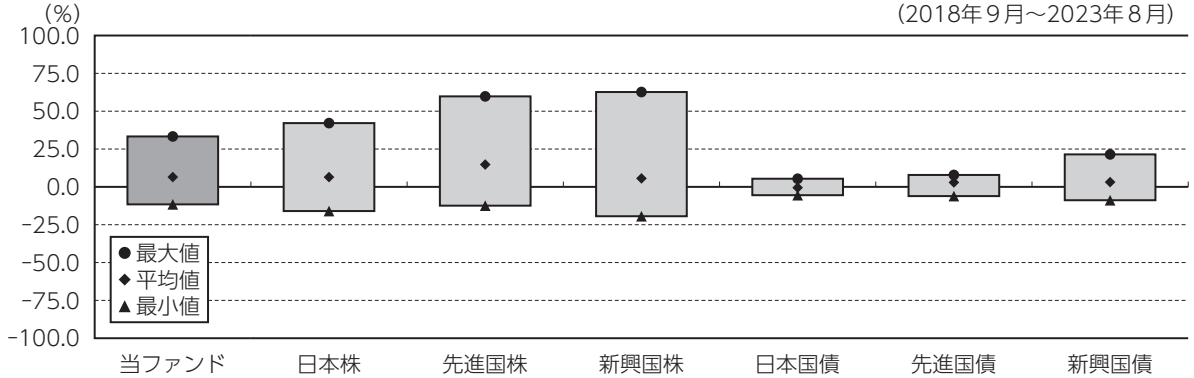
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限（設定日：2005年11月18日）	
運用方針	海外の公社債、不動産投資信託証券および株式を実質的な主要投資対象とし、安定的な配当等収益の確保と値上がり益の獲得により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	①ハイグレード・ソブリン・マザーファンドの受益証券 ②世界REITマザーファンドの受益証券 ③世界好配当株マザーファンドの受益証券
	ハイグレード・ソブリン・マザーファンド	海外の公社債等
	世界REITマザーファンド	海外の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および登録予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券
	世界好配当株マザーファンド	海外の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	①各マザーファンドの受益証券の組入比率については、下記の標準組入比率をめどに投資を行ないます。ただし、市場規模等によっては、組入比率を変更することがあります。 ハイグレード・ソブリン・マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の3分の1 世界REITマザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の3分の1 世界好配当株マザーファンドの受益証券…信託財産の純資産総額の3分の1 ②保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。基準価額の水準等によっては、今後の安定分配を継続するための分配原資の水準を考慮して売買益（評価益を含みます。）等を中心に分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年9月～2023年8月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	33.3	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	6.5	6.5	14.8	5.6	△0.5	2.9	3.2
最小値	△11.6	△16.0	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



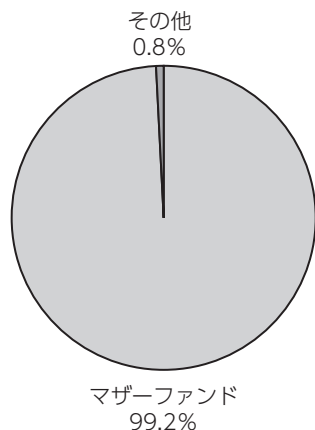
ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

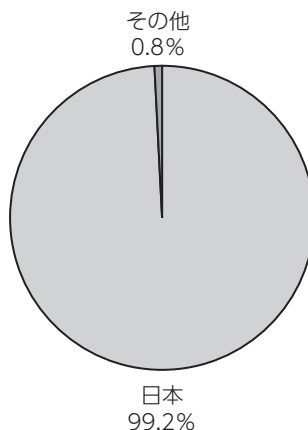
組入ファンド等

	比率
ハイグレード・ソブリン・マザーファンド	33.2%
世界好配当株マザーファンド	33.1
世界REITマザーファンド	32.9
その他	0.8

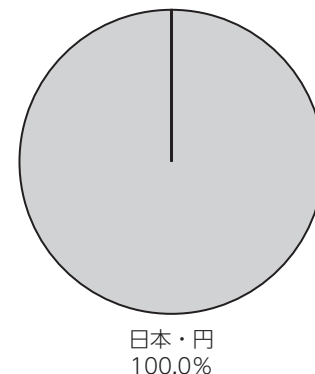
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 上記データは2023年9月11日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

純資産等

項 目	第209期末	第210期末	第211期末	第212期末	第213期末	第214期末
	2023年4月10日	2023年5月9日	2023年6月9日	2023年7月10日	2023年8月9日	2023年9月11日
純資産総額	32,649,877,538円	33,555,650,455円	33,776,144,116円	34,064,683,494円	34,368,842,427円	34,165,891,429円
受益権総口数	34,644,277,381口	34,540,713,989口	34,375,665,755口	34,183,882,056口	34,061,778,552口	33,971,235,516口
1万口当り基準価額	9,424円	9,715円	9,826円	9,965円	10,090円	10,057円

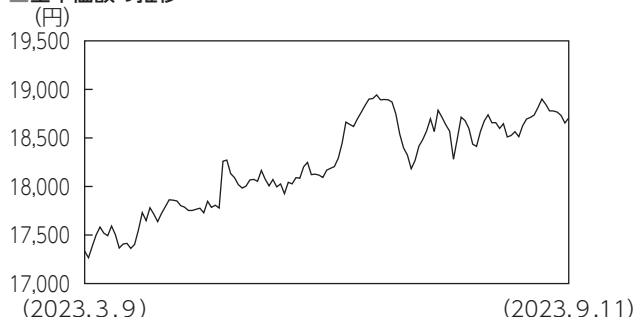
* 当作成期間（第209期～第214期）中における追加設定元本額は131,135,154円、同解約元本額は922,151,473円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

◆ハイグレード・ソブリン・マザーファンド（作成対象期間 2023年3月10日～2023年9月11日）

■基準価額の推移



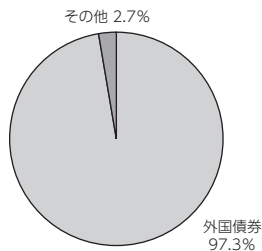
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合計	1

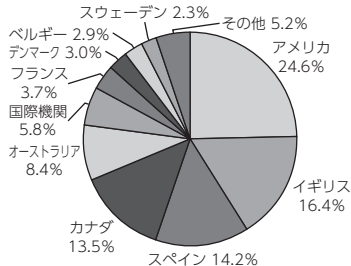
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
United States Treasury Note/Bond 0.875% 2030/11/15	アメリカ・ドル	13.8%
AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND 4.5% 2033/4/21	オーストラリア・ドル	7.6
SPANISH GOVERNMENT BOND 1.4% 2028/4/30	ユーロ	6.1
CANADIAN GOVERNMENT BOND 1.5% 2026/6/1	カナダ・ドル	4.0
FRENCH GOVERNMENT BOND 2032/5/25	ユーロ	3.7
EUROPEAN INVESTMENT BANK 2.75% 2030/7/30	ユーロ	3.2
United Kingdom Gilt 4.25% 2040/12/7	イギリス・ポンド	3.1
United Kingdom Gilt 1.625% 2028/10/22	イギリス・ポンド	3.1
UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND 3.625% 2053/5/15	アメリカ・ドル	3.0
United States Treasury Note/Bond 2.25% 2027/8/15	アメリカ・ドル	3.0
組入銘柄数	40銘柄	

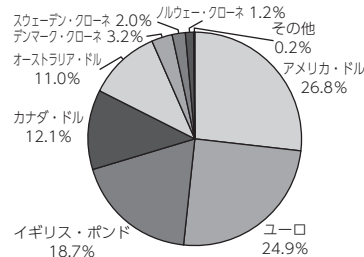
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

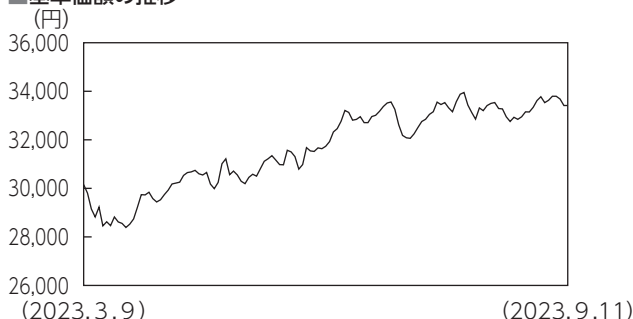
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

◆世界好配当株マザーファンド（作成対象期間 2023年3月10日～2023年9月11日）

■基準価額の推移



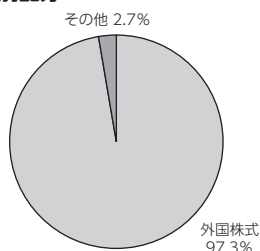
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	31円 (31)
有価証券取引税 (株式)	9 (9)
その他費用 (保管費用)	9 (7)
(その他)	(2)
合計	49

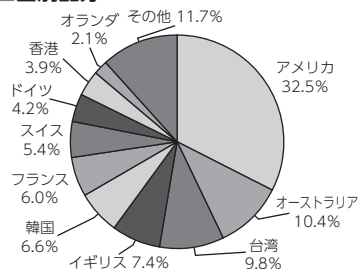
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾・ドル	4.3%
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	2.8
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	2.4
BHP GROUP LTD	オーストラリア・ドル	1.8
AIA GROUP LTD	香港・ドル	1.4
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	1.3
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	オーストラリア・ドル	1.3
MERCK & CO. INC.	アメリカ・ドル	1.3
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	1.3
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	アメリカ・ドル	1.3
組入銘柄数	150銘柄	

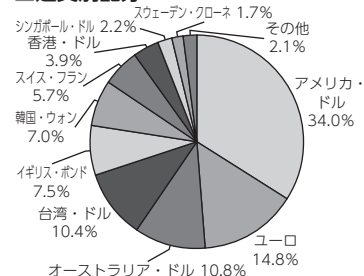
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

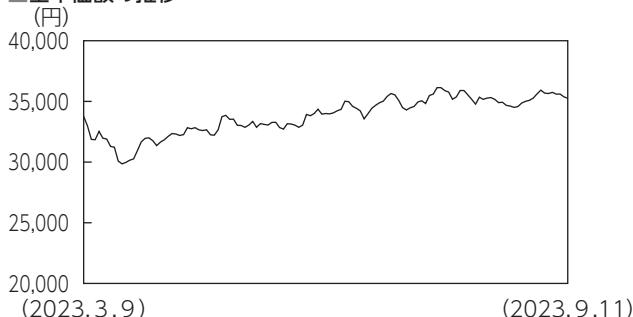
(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆世界REITマザーファンド（作成対象期間 2023年3月10日～2023年9月11日）

■基準価額の推移



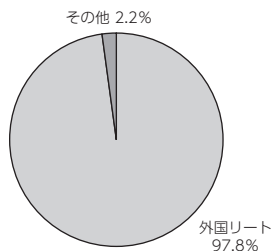
■1万口当りの費用の明細

項目	金額
売買委託手数料 (投資証券)	13円 (13)
有価証券取引税 (投資証券)	12 (12)
その他費用 (保管費用)	14 (14)
(その他)	(0)
合計	39

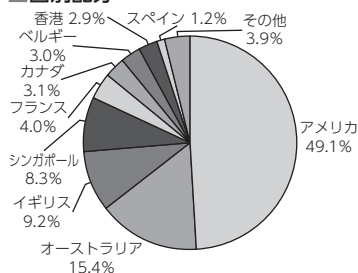
■組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	5.7%
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	4.7
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	4.4
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	4.0
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	3.8
INVITATION HOMES INC	アメリカ・ドル	3.6
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	3.3
LINK REIT	香港・ドル	2.9
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	2.5
PARKWAYLIFE REAL ESTATE	シンガポール・ドル	2.3
組入銘柄数		69銘柄

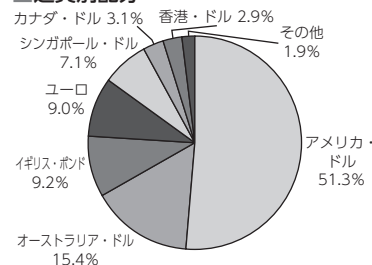
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

Memo

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management